

# とんぼ通信 146号

1月号

とうぼ小児科医院

臼杵市港町東14組 TEL63-5811

HPアドレス <http://www.tobobaby.com>

発行責任者：東保 裕の介

発行年月：平成29年1月



## 新年あけましておめでとうございます。



とんぼ通信 146号を皆様のお手元にお届けします。とんぼ通信は平成28年6月より、臼杵市の子ども子育て課の協力により、とうぼ小児科医院と「病児保育室とんぼ」が、こどもの病気、子育ての話題など、子どもに関することは何でも取り上げて提供しています。子育てのお役に立てれば幸いです。今後ともよろしくお願ひします。

### 1. 「病児保育室とんぼ」から

「病児保育室とんぼ」は平成23年4月に開設し、今は5年目です。利用者数も初年度326名から、平成25年度851名、平成26年度894名と増え、平成28年は12月までで1041名となり、3月までには1300名になる見込みです。平成28年6月より、利用料金を初日1500円、2日以降1000円、姉妹兄弟2人目から1000円と値下げし、利用しやすくしました。家族からとても喜ばれています。平成29年度には隔離室を増やし、強制排気型の空気清浄機設置も計画しています。ますます、安全で使いやすい施設となります。

### 2. 「ちあぽーと」がよく使われています！

臼杵市の子育て中の家族にとって、平成28年1月に開設された子ども子育て総合支援センター「ちあぽーと」ができたことは、最も大きな出来事だと思います。母子手帳発行から、種々の手続き、乳幼児健診、相談、遊びの広場での親子の集いなど、子どもと子育てに関することは、ワンストップ（ここでなんでも）で対応してくれる素晴らしいセンターです。4月以降の半年間に、延べ1万人の子どもと家族が利用しています。皆さんも、どしどし利用して下さい。とうぼ小児科から保育園、幼稚園の先生方への研修会も、ちあぽーとを利用しています。

### 3. 中学生の尿中ピロリ菌検診が始まります。

臼杵市は平成29年4月より、中学2年生を対象に毎年学校検尿の時の尿を使って、尿中ピロリ抗体の検査を開始します。ピロリ菌は胃がんの原因の8～9割を占めています。ピロリ菌陽性であれば、除菌することで胃がんの予防ができます。中学生の5%がピロリ菌陽性と言われていています。是非、協力をお願いします。

### 4. 「ペシャワール会」を支援しましょう

ペシャワール会とは、中村哲医師のパキスタン、アフガニスタンでの医療活動、大規模灌漑活動を支援しているNGO（民間海外協力団体）です。1984年から30年以上にわたり、中村医師の活動は日本からの会費、寄付のみで行われています。とうぼ小児科の院長と中村哲医師は大学の同級生です。ぜひ協力をお願いします。

※待合室にペシャワール会報があります。ぜひ持ち帰り、ゆっくりと読んでみてください。



郵便の取扱票

番号：01790-7-6559

加入者名：ペシャワール会

年会費：3000円